

卒業生の皆様  
学生の保護者の皆様

皆様こんにちは。名古屋工業大学卒業生連携室です。  
今シーズンの冬は、暖冬傾向だった近年に比べ「真冬らしい厳しい寒さ」でしたが、ここ最近  
は春の訪れをぐっと感じるようになりました。2026年の桜の開花予報も、愛知県（鶴舞公園）  
は3月18日開花予想となっており、3月26日（木）の本学卒業式・学位授与式では、満開の  
桜の下で卒業生・修了生をお祝いできそうです。  
皆様も春の季節を楽しみながら、心温まるひとときをお過ごしください。  
それでは、ニュース、イベント情報等お知らせいたします。

---

名古屋工業大学 卒業生連携室 メールマガジン No. 87  
2026年3月号

---

## 【目次】

- 1 ニュース
- 2 イベント
- 3 研究関連情報
- 4 教員の受賞
- 5 学生の活躍
- 6 公開講座
- 7 名古屋工業会・学科同窓会
- 8 奨学金等
- 9 リンク
- 10 卒業生連携室から

---

## 1 ニュース

### ○ 硬式野球部部員が「大学野球 2025 主務 AWARD」を受賞

大学野球において欠かすことのできない選手を支える主務や学生コーチなどの学生を顕彰する目的で今年度新たに創設された「大学野球 2025 主務 AWARD」を本学硬式野球部部員が受賞しました。

東京大学伊藤国際学術研究センターにおいて2月23日に開催された表彰式では、一次審査を通過した全国のFinalist15名が招待され、「主務」「学生コーチ」「アナリスト」の各部門からそれぞれ1名のAWARD受賞者と、準AWARD5名が発表されました。プレゼンターは、野球解説者・評論家であり、横浜DeNAベイスターズ初代監督を務めた中畑

清氏が務めました。

本学は、競技力の向上と組織運営の両面において主体的に取り組む学生の活動を、今後も支援してまいります。

<https://www.nitech.ac.jp/campus/news/13746.html>

○ 第48回技能五輪国際大会に本学から選手（学生）とエキスパートが選出

2026年9月に上海で開催される第48回技能五輪国際大会(WorldSkills Competition)のサイバーセキュリティ職種において、工学専攻ネットワークプログラムの学生2名が日本代表として選出されました。また、創造工学教育推進センターの井上雅弘講師（元本学教授）が同大会の工業デザイン技術職種において、協議運営や審査を担うエキスパートとして選任されました。

技能五輪国際大会は、青年技能者（原則22歳以下（一部の職種は25歳以下））を対象に、技能競技を通じ、参加国・地域の職業訓練の振興及び技能水準の向上を図るとともに、国際交流と親善を目的に隔年で開催されています。幅広い職種を対象とする唯一の世界レベルの技能競技大会です。技能五輪国際大会に学生・エキスパートの双方が選出されることは、本学にとって大きな成果です。国際舞台での3名の活躍を、教職員一同、心より応援しています。

<https://www.nitech.ac.jp/news/news/2025/13649.html>

○ 生成AI活用に向けた全学的取り組みを開始 ～第1段階として、生成AIを全常勤教職員に導入～

本学では、「AIを使いこなせ、AIに使われるな」という小畑学長のメッセージのもと、教職員が安心して生成AIを活用できる共通基盤として「ChatGPT Edu」を導入しました。これは、生成AIを単なる便利なツールとしてではなく、人の能力を拡張し、教育・研究・業務の質を高めるための基盤として活用することを目的としています。本取り組みは『中日新聞』（2025年1月9日朝刊）でも紹介されています。

今後は、2027年4月入学の博士前期課程学生から生成AIの配布を検討し、FD（ファカルティ・ディベロップメント）およびSD（スタッフ・ディベロップメント）を積極的に実施していく予定です。

<https://www.nitech.ac.jp/news/news/2025/13600.html>

## 2 イベント

○ 女子小・中学生対象 モノづくりチャレンジ「第5回プログラミング体験講座：マイクラフトで花火と屋台を作ろう！」を開催

3月20日（金・祝）13時に、本学NITech Hallにおいて、女子児童・生徒が科学やテクノロジーに触れ、科学技術への関心や理数系の学びへの関心を高める機会として、小学4年生～中学3年生の女子児童・生徒を対象にプログラミング体験講座を開催します。プログラミング未経験の方も安心して参加いただけます。

<https://www.nitech.ac.jp/event/2026/03/20.html#013669>

○ AI 共創科学フォーラム 公開シンポジウムを開催

3月19日(木)13時より、本学NI Tech HallにおいてAI共創科学フォーラム公開シンポジウムを開催いたします。

本シンポジウムでは、基調講演やパネル討論を通じて、最先端AIの活用による科学の発展、研究基盤の革新、そして日本の学術研究の未来像について幅広く議論します。興味のある方はぜひご参加ください。

<https://www.nitech.ac.jp/event/2026/03/19.html#013673>

3 研究関連情報

○ 次世代光遺伝学を支える光駆動ナトリウムポンプの分子機構を解明 ～脳神経研究に貢献する光制御ツール開発へ前進～

本研究成果は、神経細胞の興奮を光で抑える光遺伝学ツールの高度化や、カリウムポンプ型変異体の高性能化につながる基礎的知見であり、脳機能の解明や神経疾患研究への応用が期待されます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13716.html>

○ 薬になりにくい—天然物創薬の限界を突破する合成法確立 赤痢アメーバ症はじめさまざまな疾患治療薬への展開に期待

本研究は、微生物の生合成能力と化学合成の自由度を組み合わせることで、「効くの薬にならない」とされてきた天然物を、治療薬開発に適した形へと作り替えられることを示したものです。赤痢アメーバ症に対する治療薬候補の創出にとどまらず、複雑天然物を「創薬仕様に再設計する」ための汎用的な考え方と技術基盤として、今後さまざまな感染症や難治性疾患の創薬へ応用できることが期待されます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13652.html>

○ 接着する際に「界面に集まるアミン」の謎を解明 ～強い接着のカギは酸塩基相互作用にあった～

本研究により、接着界面では、接着剤が硬化し始める初期段階に、ルイス酸塩基相互作用が強く働くほど、硬化剤が界面に引き寄せられ、接着強度が高まることがわかりました。また、接着強度を高めるだけでなく、長期に安定した接着強度を維持するためには、基板表面と接着剤の間に強い分子間相互作用が形成されることが重要であることも示されました。分子レベルでの解析を取り入れることで、同じ接着剤を用いた場合でも、従来より高い接着強度や耐久性を引き出す表面処理方法の開発や、接着不良が生じる原因の解明に、本研究成果が役立つと期待されます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13656.html>

○ 細菌の光情報伝達のトリガーを解明！— 医療応用につながる光遺伝学ツールの開発へ前進 —

本研究で明らかとなった細菌の光情報伝達機構は新規の光遺伝学ツールの開発につながる知見です。将来、細菌の運動や代謝を自在に光操作する技術を実現することで、細菌を光で誘導できる新たなドラッグデリバリーツールとして、がん細胞などの病変部位に薬剤を届けることが可能になると期待されます。また、表面増強赤外分光法は膜タンパク質の配向を揃えて生理的条件に近い状態で計測することが可能となる計測技術であり、タンパク質間相互作用に関わる光遺伝学ツールの分子機構を研究するプラットフォームとなります。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13604.html>

○ 光とホウ素ラジカルで環境にやさしい新手法を開発～切りにくい「炭素-シアノ結合」を室温下で開裂～

本研究成果は、ホウ素ラジカル化学の応用可能性を大きく広げるとともに、今後のシアノ基を足掛かりとした反応開発における重要な指針となることが見込まれます。ひいては、学術的にも新たなホウ素ラジカル化学の展開につながる成果であり、有機合成化学分野をはじめ、様々な分野への波及効果が期待されます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13569.html>

○ PTFE を室温・1時間で"フッ素原料"に再生 —フルオロ・サーキュラー・エコノミーを切り拓く画期的技術を確立—

本研究成果は、世界的に懸念される蛍石資源の枯渇や供給不安を背景とするフッ素化学産業の持続性に対し、廃棄物からフッ素を回収して再利用する「フッ素資源循環 (Fluoro-Circular Economy)」の実現に向けた明確な道筋を提示しました。医薬品・農薬・電子材料・半導体などフッ素化学を基盤とする多数の産業への安定供給につながる可能性を持ち、今後の工業スケール展開を見据えた企業連携も現実味を帯びつつあります。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2025/13506.html>

#### 4 教員の受賞

本学の教員が優れた功績を認められ、受賞等されましたのでお知らせいたします。

○ 超異分野学会 愛知フォーラム 2026 (ポスター賞) オーディエンス賞

伊藤 洋介 准教授が受賞しました。

<https://www.nitech.ac.jp/research/news/13630.html>

○ ISEPD2026 Best Oral Awards

渡邊 拓実 特任助教が受賞しました。

<https://www.nitech.ac.jp/research/news/13610.html>

○ 第78回日本化学会賞

柴田 哲男 教授が受賞しました。

<https://www.nitech.ac.jp/research/news/13552.html>

○ 米国コンクリート学会最優秀論文賞

市之瀬 敏勝 名誉教授が受賞しました。

<https://www.nitech.ac.jp/research/news/13550.html>

5 学生の活躍

学生たちが素晴らしい活躍をしております。これからも学生皆さんの素晴らしい活動を楽しみにしています！

<https://www.nitech.ac.jp/campus/news/index.html>

6 公開講座

多くの方々からご好評をいただき、心より感謝申し上げます。

来年度の公開講座については、3月下旬にホームページに掲載する予定ですので、ご期待ください。

<https://www.nitech.ac.jp/social/course/list.html>

7 名古屋工業会・学科同窓会

○ 名古屋工業会

名古屋工業大学における教育研究の支援を行うと共に、会員相互の連絡啓発を行い、学術・文化の発展に寄与することを目的として、活動を行っています。

<https://www.nagoya-kogyokai.jp/>

○ 名古屋工業会誌「ごきそ」新春号の発刊

同窓会誌「ごきそ」の最新号である2026年新春号が発刊されました。先端科学技術情報（GX、世界の動きと日本の進むべき道を考える）等の記事を掲載しています。ぜひご覧ください。

[https://www.nagoya-kogyokai.jp/gokiso\\_list](https://www.nagoya-kogyokai.jp/gokiso_list)

○ 単科会

各学科の同窓会組織です。

<https://alum.nitech.ac.jp/links/tanka.html>

## 8 奨学金等

- 本学では授業料免除の他、多様な奨学金制度を設けており、学生の経済的支援を行っております。受付期間などを確認していただき、申請遅れのないようご注意ください。  
<https://www.nitech.ac.jp/campus/support/joukyo.html>

## 9 リンク

- 名古屋工業大学ホームページ  
メールマガジンにて掲載している内容だけでなく、大学の動向が一目でわかるようなコンテンツとなっておりますので、是非訪れてみてください。  
<https://www.nitech.ac.jp/>

- 基金のページ  
産業界、地域社会、そして卒業生の皆さまから支持される魅力的な大学づくりを目指し、世界へ羽ばたく多くの学生・研究者を支援するため、皆さまからの御寄附・御支援をお願いしております。  
<https://www.nitech.ac.jp/kikin/>

- 卒業証明書等申請  
<https://www.nitech.ac.jp/campus/procedures/certificate.html>

- キラリ卒業生 社会で活躍する名工大卒業生  
幅広い業界に就職し、活躍している卒業生が掲載されています。  
<https://www.nitech.ac.jp/prospective/actvity/index.html>

- 名古屋工業大学産学官金連携機構  
企業様のアウトカムを創出していくよう、研究計画からアウトプットまで丁寧に支援をさせていただきます。  
<https://sanren.web.nitech.ac.jp/>

## 10 卒業生連携室から(連絡先メールアドレス：[renkei@adm.nitech.ac.jp](mailto:renkei@adm.nitech.ac.jp))

- 学科同窓会会員名簿の管理について  
学科同窓会の協力を得て、卒業生名簿の大学管理への移行を進めています。住所変更等の情報をお知らせください。なお、CE会の会員様は、CE会名簿修正フォームにて、

御自身で変更することも可能です。

[https://ssl.cekai-nitech.jp/form/ce\\_edit\\_member\\_form](https://ssl.cekai-nitech.jp/form/ce_edit_member_form)

- 登録情報について登録内容に変更がございましたら、御連絡ください。
- 大学訪問時の御案内等について  
卒業生の皆様が同窓会でキャンパスを訪問された際に、キャンパス案内をお引き受けしております。お気軽にお申し出ください。
- 卒業生連携室ホームページ  
<https://alum.nitech.ac.jp/index.html>

- 
- ・ メールマガジンバックナンバーはこちら  
<https://alum.nitech.ac.jp/backnumber/>
  - ・ 配信停止は、登録されているメールアドレスから、件名を「メールマガジン配信停止希望」と記載し、本文に以下の事項を記入の上、名古屋工業大学卒業生連携室までメールをお送りください。

本文記入事項

§ 在学生の保護者の方

- (1) 学生（在学されている方）の氏名

§ 卒業生の方

- (1) 氏名
- (2) 卒業・修了された年月
- (3) 在学時の学生番号（不明な場合は「不明」と記入。）

送信先：[renkei@adm.nitech.ac.jp](mailto:renkei@adm.nitech.ac.jp)

---